

緑丘中学校

学校だより

令和6年度 1月号

〒927-1213

珠洲市野々江町6の部1番地

Tel 82-0250 Fax 82-3199



## 「未来の自分の夢をかなえよう」

校長 小島 康志

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。本年も一層のご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年がスタートしました。1年の中には節目がいくつかありますが、新年を迎えたこの1月は、心を新たに「今年も（今年こそは）良い1年にしたい」と感じさせてくれる節目ではないでしょうか。3学期は学年のまとめであり、次年度へ向けた準備の期間でもあります。生徒のみなさんには、一日一日を大切に、仲間とともに充実した学校生活を送ってほしいと思います。

震災から1年、豪雨から3カ月がたち、ふるさと珠洲の風景やなりわいが大きく変わってしまいました。1学期、2学期は、部活動、体育祭、文化祭と3年生が中心となり大活躍してくれました。生徒の活躍が、学校、地域に笑顔や元気を届けてくれたことは間違いありません。生徒はこの1年間、それぞれにいろんな思いを持ち、いろんな体験をし、多くの方からの助けを受け学校生活を送ってきました。すべてを元どおりに戻すことはできませんが、1月を節目とし、自分なりの未来を心に描いて、新たな一步を踏み出せるきっかけにしてほしいと思います。

約30年前「願わないものはかなわない」というお話を聞く機会がありました。「成績を上げたい」「部活動で活躍したい」「友だちと良い人間関係をつくりたい」など、より具体的な「願い」を持ってこそスタートラインに立つことができる、そしてその願いが「本気」であればあるほど、達成するための力が湧いてくるという内容でした。3年生は、「高校に合格する」という願いに向かって頑張っています。受験への不安や、勉強してもなかなか結果に結びつかない焦りなど、ストレスが溜まり、心が不安定になることもあるでしょう。家族や先生方の励まし、仲間が頑張っている姿から「勇気」をもらって、再度自分を奮い立たせ、「達成するための力」を湧きあがらせてほしいと思います。自分で決めた、自己決定した目標であるからこそ、失敗しても何度でも粘り強くチャレンジする力が湧いてくるのだと思います。

さて、子どもたちは、「将来の夢は?」「つきたい職業は?」など、将来についていろんな場面で聞かれることがあります。年始で親戚から聞かれた人もいないのでしょうか。具体的に「将来の夢・職業」について明確な答えを持っている中学生はそんなに多くいません。これから、高校生活や短大・専門学校・大学生活での様々な経験や、たくさんの人との出会いを重ねることなどで、「夢や職業」がはっきりしてくる人の方が多いと思います。時々、「学校の勉強が将来の役に立つの?」といった声が聞こえてきますが、

「高校受験」「大学受験」「資格取得」など、これらの土台となるのは何でしょうか。...

「専門的な勉強」をするための、土台となるのは何でしょうか。...

「相手に分かりやすく、要約して伝える力」となるのは何でしょうか。...

学校の授業は、教科の勉強をしているだけでなく、勉強の仕方や思考の仕方、個人または集団で課題を解決していく力も養っています。「なりたい自分」を見つけたとき、「つきたい職業」がはっきりしたときのために、「今、すべきこと」「今しかできないこと」を実行し、積み上げてほしいと思います。

## 「未来の自分の夢をかなえるために」

今年も、本校へのご支援・ご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

## ◇輪島税務署長表彰

11月22日（金）に輪島税務署の方々がお来校され、校長室で特別表彰式が行われました。今年度も本校から「税についての作品」がたくさん出品され、輪島税務署長賞や県知事賞をはじめ、優秀な成績を納めることができました。日常的に身のまわりのことに目を向け、よく気づき、よく考えている証だと思えます。受賞されたみなさん、おめでとうございます！



## ◇アスリート派遣事業（1・2年生）



11月28日（木）に日本テレビ放送網株式会社が運営するアスリート派遣事業として1学期に続いて、トップアスリートの方にお越しいただきました。今回は、元バスケットボール選手の小池真理子さんに来ていただき、指導を受けました。小池選手は、以前はトヨタ自動車に所属されていたプロの選手で、日本代表にも選出されたことがあるそうです。1・2年生が合同で講習を受けました。初めに小池選手のお話を聞いてから、実際にボールを使ってドリブル

やパスなどの練習をしました。小池選手から「毎日の努力を積み重ねていくことが目標につながっていく」というお話がありました。最後に全員で記念撮影をして終わりました。小池選手や関係者の皆様ありがとうございました。



## ◇SDGs学習取組報告会

11月30日（土）にラポルトすずで令和6年度の「生き物観察会」および「SDGs学習発表会」が行われました。市内の小中学生が全員集まり、今年度取り組んできた学習成果を発表しました。ふるさと珠洲がいつまでも残るようにそしてさらに発展していけるように、どの学校の発表もよく考えられたものになっていました。緑丘中は、各学年から代表メンバーがそれぞれのテーマでプレゼンを行いました。総合的な学習（SuZuSoZo I期～III期）の中で学んできた地域学習とSDGsの視点をリンクさせて、珠洲の特色や良さについて、聞いている人たちに伝えるようにしっかり発表することができました。発表会は終わりましたが、今後も持続可能な珠洲を目指して、地域を盛り上げるアイデアを出して行ってほしいと思います。

### I期「地域と私～珠洲の今、そして未来へ～」

代表 石田 澄海 田端 真衣 西 琥太郎 和嶋 桃子

### II期 SDGsと地域の仕事

代表 眞吉 佑典 篠原 大智 清水 珠里 川坂 南葵

### III期「珠洲遺産創造」プロジェクト～地域の魅力的な資源をつくらう～

代表 江場田 萌未 岡田 朋大 小高井 彩寧 前根 舜也



緑丘中学校 1

## ◇人権週間の取り組み（人権集会）

12月4日（水）～10日（火）の人権週間に合わせて人権について考える集会を行いました。感染症が広がってきている状況を踏まえて、各教室でリモート映像による集会となりました。まず「人権」や「人権週間」について学びました。そして、学校における「人権課題とは何か」について考え、友達と話し合いました。



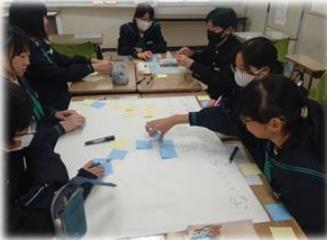
自分、友達、家族、地域の人たち、すべての人が生まれながらに持つものが「人権」です。お互いの人権を尊重し合わなければ、社会（集団）生活が成り立ちません。

自分がされて（言われて）嫌なことは、相手も嫌だと感じるものです。お互いが気を付けて、今以上に居心地のよい学級、学校にしていってほしいと思います。



## ◇第2回珠洲の未来を考えるワークショップ

12月16日（月）に珠洲産業センターと市内4中学校をオンラインで結んで、「第2回珠洲の未来を考えるワークショップ」が行われました。本校からは各学年から6名の生徒が代表として産業センターの本会場で他校の生徒と協議し、残りの生徒たちは各教室でグループ協議を行いました。第1回に続いて、将来の珠洲がどうなって欲しいのかについて、意見を出し合いました。生徒たちのテーマで多かったものは、「祭り」や「遊び場」、「珠洲にあったらいいお店」など自分たちの生活と直接関わるものがあげられていました。そして、それぞれのテーマに沿って、珠洲が発展していくための方法について各自の考えを模造紙にまとめました。珠洲の未来を担っていくみなさんが、将来の珠洲について考えることはとても意義のあることですし、自分の進路についても考える良い機会になったと思います。



## 「無駄話」や「弱音・愚痴」のおすすめ

新年明けましておめでとうございます。いよいよ3学期が始まりましたが、年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。冬やすみの間家庭内での会話が増えたのではないかと想像しています。この場をお借りして、表題にも上げました無駄話や愚痴・弱音を吐く事の大事さについてお話ししたいと思います。

では家庭の中で家族の間の会話として、「報告・連絡・相談・申し送り・引継ぎ・確認」など仕事でもするような内容の物とは全く異なる、いわゆる純粋な無駄話が一日のうちでどのくらいなされているとお考えですか？少しデータがふるくて申し訳ありませんが、NHKが日本人の生活時間調査というのをやっております、その中での上記「純粋な無駄話」の時間は1985年（今から40年ほど前です）で一日に7分、その10年後の1995年には11分と微増していました。その後コロナ禍などもあり、家庭内での家族の滞在時間は増えていると思われませんが、そこに今度はインターネットが入り込んできました。ラインやインスタグラム、ティックトックなどに個人が使っている時間が40代以下の方々の間でとても増えており、この事から考えますとむしろ会話に使われる時間は減る方向に向かっているのではないかと危惧されることです。

なぜ、この場所をお借りして無駄話が大事かと申しますと、家族の間で無駄話が少ない家庭では大事な話も出来にくい、と云う事があるからです。普段から会話の少ない家庭内で子どもが自分の深刻な話を切り出しやすいと想像できるでしょうか？普段から一緒にご飯を食べながら、或いは寿司やピザをとってみんなで食べる場面でやれ味が濃いだ薄いだ、これは好きだ嫌いだなどの会話が大事になってくるのは「家庭内でみんなが話しやすい雰囲気を作り出す事」につながると思うからなのです。同様にお父さんやお母さんが愚痴を吐いたりして下されば、子どもも「家の中では愚痴を吐いてもいいんだ、大丈夫なんだ」と思う事が出来ると思います。弱音もそうです。子どもが弱音を吐くことが出来るのは家庭の良いところだと思うのです。例えばお父さんが「仕事でこんな嫌な事があった。けれど工夫をして頑張った」でも、「頑張ったけどこんなことがあったのでダメだった」でも構いません。頑張ってきたことも頑張っても出来なかったこともあるのが私たちの毎日です。子どもが子どもなりに頑張ってきた、或いは頑張ったけど出来なかった、この事を家庭の中で出して行けることが大事なのではないか、と思うのです。愚痴や弱音を吐きだすことによって、心は軽くなります。嫌な思いを身体の中にため込んでおくことの方がはるかに重大な結果を生む可能性があるのは既にご存じの事だと思います。

どうぞ身体の中にため込んでおかずに出して行ける工夫をしてみてくださいたいと思います。親子で愚痴や弱音を無駄話の中に織り込んで、家族のみんなが互いにもっと楽になれるような工夫をしていただけたらな、と願っております。

中谷智一スクールカウンセラーより

### 納賞式および表彰式（リモート開催）

12月11日（水）に納賞式および表彰式を行いました。人権集会に続きリモートでの開催となりました。先月の学校だよりに各賞を掲載しましたが、今年度も書道、絵画、標語、作文、科学作品などたくさんの応募作品での受賞となりました。緑中生が運動面だけでなく、文化面でも張っていることの証ですね。それが結果につながってきていると思います。まさしく文武両道です。受賞した生徒のみなさんおめでとうございます。



### ☆応募作品の結果☆

#### ○珠洲市読書感想文コンクール（課題図書の一部）

・特選：今井 瑛次 ・入選：宮下 愛子

#### ○珠洲市読書感想文コンクール（自由図書の一部）

・特選：梶 凧沙 小町 一嘉 ・入選：小高井 希乃香

#### ○珠洲市読書感想画コンクール（自由図書の一部）

・特選：新屋 綾芽 小高井 希乃香

#### ○珠洲市スピーチコンテスト

・優秀賞：泉 湧太 初鳥 凧音 今井 瑛次 前根 佑斗  
石尾 太暉 上田 朱夏 吉田 絆生 宮下 愛子

#### ○令和6年度奥能登広域圏防火書道コンクール

・最優良賞：宮下 愛子 ・優良賞：川坂 南葵 新屋 六花  
・佳作：宮田 陽菜 濱田 真桜  
・努力賞：新屋 向日葵 宮田 芽衣香



### ☆各種検定試験の結果☆

#### ○実用英語技能検定

・準2級：宮下 愛子  
・3級：上田 朱夏 石尾 太暉 大貫 加恵 谷内口 心春  
吉田 絆生  
・4級：澤村 駿 中川 葵乃 ・5級：前根 佑斗

#### ○日本漢字能力検定

・2級：宮下 愛子 ・3級：大貫 加恵  
・4級：石尾 太暉 杉盛 佑葉 ・5級：前根 佑斗 三澤 琴葉  
・8級：岡田 康汰

#### ○実用数学技能検定

・3級：出村 莉瑚 宮下 愛子 川端 秀虎  
・5級：今井 瑛次 西 琥太郎 三澤 琴葉



## 1月の行事予定



日	曜	行事
1	祝	学校閉庁日
2	休	学校閉庁日
3	休	学校閉庁日
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	始業式 登校指導 書き初め大会
9	木	第2回学力テスト（3年） 冬休み明けテスト（1・2年）
10	金	第2回学力テスト（3年） 冬休み明けテスト（1・2年）
11	土	
12	日	
13	祝	石川県中学生インドアソフトテニス大会 （小松ドーム）
14	火	
15	水	職員会議①
16	木	
17	金	第3回英語検定
18	土	
19	日	珠洲市民百人一首大会
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	1年スキー合宿（白山ろく少年自然の家）
24	金	1年スキー合宿（白山ろく少年自然の家）
25	土	新入生合同学生服採寸会（商工会議所）
26	日	新入生合同学生服採寸会（商工会議所）
27	月	
28	火	避難訓練（土砂）
29	水	
30	木	第2回学校関係者評価委員会
31	金	私立高校一般入試



